

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		汚染負荷量負担金納付事務				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050801000233
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独		030301
政策体系	総合計画の施策名	0508	生活環境の保全					所属課	生活環境課
	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり					課長名	
	施策名	08	生活環境の保全					グループ	環境公害対策G
	手段名	01	①公害防止・生活環境の保全					担当者名	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	04	02	01	01	00	清掃総務事業		
法令根拠		公害健康被害の補償等に関する法律				単年度繰返し ( 年度～)			
		【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)				☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>公害健康被害の補償等に関する法律に基づき、公害健康被害補償制度 (旧岩瀬じん芥処理場) における補償給付に必要な費用の一部 (汚染負荷量賦課金) を独立行政法人環境再生保全機構へ申告・納付する。認定患者数は、昭和63年7月ピーク時110,074人、平成27年3月末現在34,973人で費用負担割合は、汚染負荷量賦課金 (8割) ・自動車重量税収引当 (2割) で補償給付を行っている。</p>		<p>申告書に基づき負担金納付処理。</p>	

①手段 (担当者の活動内容)							④活動指標 (活動量を表す指標)					単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
申告書に基づく負担金納付処理							負担金納付額					円	24,800.00	23,600.00	23,600.00	23,600.00	23,600.00
							ばい煙発生施設					施設	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)							⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)					単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
ばい煙被害住民							環境再生保全機構認定患者数					人	34,973.00	34,973.00	34,973.00	34,973.00	34,973.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)							⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)					単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
被害者に補償給付する							補償給付額					百万円	42,000.00	42,000.00	42,000.00	42,000.00	42,000.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移				05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	25	24	24		
	事業費計 (A)	千円	25	24	24				
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)				07年度事業費 予算 (千円)			
	18 負担金補助及び交付金	24			18 負担金補助及び交付金	24		
				合計	24		合計	24

(4) 当該年度の実施内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	公害健康被害の補償等に関する法律に基づき、公害健康被害補償制度における補償給付に必要な費用の一部 (汚染負荷量賦課金) を独立行政法人環境再生保全機構へ申告・納付する。	公害健康被害の補償等に関する法律に基づき、公害健康被害補償制度における補償給付に必要な費用の一部 (汚染負荷量賦課金) を独立行政法人環境再生保全機構へ申告・納付する。	公害健康被害の補償等に関する法律に基づき、公害健康被害補償制度における補償給付に必要な費用の一部 (汚染負荷量賦課金) を独立行政法人環境再生保全機構へ申告・納付する。

事務事業名	汚染負荷量負担金納付事務	事務事業No.	50801000233	所属課	生活環境課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 公害健康被害の補償等に関する法律に基づき、大気汚染、水質汚濁の影響による健康被害に係る補償、健康被害を予防するための事業を行うことにより、被害者の保護、健康確保を目的とする。法令根拠は特に変更なし。現在は、市の施設（旧岩瀬町じん芥処理場）としての稼働はなく過去分として申告・納付している。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 公害健康被害の補償等に関する法律に基づく事務であり、汚染負荷量負担金納付事務の施策に結び付いている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市の責務として、必要不可欠な事務である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 申告書に基づき負担金納付処理をしているため、向上余地がない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止・休止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 削減余地なし。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 申告書に基づき負担金納付処理をしているため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 公害健康被害の補償等に関する法律に基づく事務である。																			
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → ( <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ( <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 ) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる			(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×		×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×		×																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	--